

一般財団法人エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL 03-5405-7203(直通)/FAX03-5405-8201

ホームページアドレス ; <http://www.ena.or.jp/GEC/>

E-mail アドレス ; gec-adm@ena.or.jp

第 334 号 / 2017.7

Index

- 平成 29 年度 第 1 回研究企画委員会開催報告
- 平成 29 年度(公財)JKA 地下情報の基盤モデルづくりに関する調査(第 1 回委員会開催報告)
- 平成 30 年度 調査研究活動に関する技術課題・テーマの公募
- 会員の皆様へのお知らせ
 - 日帰り見学会参加者募集のご案内
 - 退任挨拶

■平成 29 年度 第 1 回研究企画委員会開催報告■

平成 29 年度 第 1 回 研究企画委員会(委員長:高田 悦久氏 鹿島建設㈱、副委員長:太田 誠氏 大成建設㈱)が、6 月 19 日(月)に開催されました。

上田 事務局長の協会挨拶、高田 委員長の挨拶、各委員の自己紹介の後、高田 委員長の司会により議事が進められました。なお、平成 29 年度より、新たに㈱IHI の八木氏、大阪ガス㈱の牛田氏、JX 金属㈱の松田氏、清水建設㈱の佐々木氏、㈱ダイヤコンサルタントの菱谷氏、日揮㈱の松岡氏に委員をお願いしました。

議題と議事内容の概要は以下のとおりで、審議事項についてはいずれも了承されました。

1. 平成 28 年度事業報告(案)及び決算報告(案)について(審議)

本件は 6 月 30 日開催の理事会、評議員会に付議され、承認されました。

- (1)平成 28 年度事業一覧
- (2)平成 28 年度事業報告書(案)
- (3)平成 28 年度決算報告(案)

2. 平成 29 年度事業の進捗について(報告)

- (1)平成 29 年度補助事業
 - 地下情報の基盤モデルづくりに関する調査

(2)平成 29 年度受託事業

- 1) 地熱発電・地下利用に関する技術開発(提案中)
- 2) 経済産業省「地熱発電に対する理解促進事業」に対する支援業務(支援要請があれば対応検討)

(3)平成 29 年度自主事業

- 1) 研究企画ワーキンググループ
- 2) 研究会
 - ①放射性廃棄物研究会
 - ②地熱発電・熱水活用研究会
 - ③計測技術研究会
 - ④水素輸送・貯蔵研究会
 - ⑤エネルギー関連施設に関する活断層の工学的研究会
- 3) 地下利用推進部会(安全・安心・快適な国土形成に資する地下空間利用の調査)
 - ①第 1 部会 地下歩道ネットワーク整備による快適な社会に関する調査研究
 - ②第 2 部会 エネルギー施設の強靱化に関する調査研究
 - ③第 3 部会 地下の立体的利用による生活基盤の整備に関する調査

研究

④第4部会 交通網施設の強靱化に資する地下空間利用に関する調査研究

4) 地下情報化部会

5) 国内見学会、日帰り見学会

6) 研究成果発表会

3. 平成29年度 JKA 補助事業委託業務公募結果(報告)

4. 平成30年度エンジニアリングに関する調査研究<提案公募>の予定について(報告)

5. 研究成果発表会 2017プログラムの紹介
 次回の第2回研究企画委員会は9月19日(火)

に開催する予定です。



委員会の様子

■平成29年度(公財)JKA 地下情報の基盤モデルづくりに関する調査 (第1回委員会 開催報告)

*本事業は、公益財団法人 JKA の競輪の補助を受けて実施しています。

平成29年度(公財)JKA 地下情報の基盤モデルづくりに関する調査の第1回委員会(委員長: 矢吹信喜氏 国立大学法人 大阪大学 教授)が6月7日(水)に当協会会議室で開催されました。奥村所長の協会挨拶、矢吹委員長の挨拶、各委員自己紹介の後、研究の背景・目的・進め方および実施計画等について審議が行われ、承認されました。

地下の埋設物・構造物の位置・構造情報および地盤・地層・地下水等の地盤関連情報は、一部は集約管理されていますが、設計・施工・維持管理に関する基盤情報としての整備が成されていないのが現状となっています。

本年度の調査では、国土地理院の基盤地図情報やGISの現状調査および国内外の地下情報整備の現状を調査し、現時点で実現可能な地下空間の基盤モデルの整備方法と構想案を提案し、次年度に適用検討するためのモデル地区の抽出等を行うことを目的としています。研究期間は2年間を予定しています。

①国内外の地下情報の整備状況調査、整備動向調査、関連法規の調査、②地下構造物の設計・施工・維持管理等に必要な情報の範囲・精度等の整理、③地下情報の基盤モデルづくりに対する課題

抽出と検討条件の設定、の現状調査と取りまとめを外部委託先にて行います。それらを基に、④地下情報の標準化仕様と整備取得方法の検討、⑤課題への対応技術調査、⑥3D基盤モデルづくり構想(案)と整備方法(案)の提案、を当センターに設置する作業部会で検討し、次年度に検討するモデル地区の選定および調査計画の作成を実施する計画となっています。外部委託先と作業部会との間で、密に、情報交換を行い、次年度の検討へ繋がっていきたいと考えています。

今後、当センター、作業部会および外部委託先の研究を推進し、調査目標の達成に努めてまいります。



委員会の審議風景

■平成30年度 調査研究活動に関する技術課題・テーマの公募■

地下センターでは、公共的かつ先導的・共通基盤的な課題等について幅広く産・学・官の英知を結集して、プラントや機械システム等の新技術に関する調査研究を行い、今日的な社会的諸問題の解決、将来の望ましい社会システムの構築等に資することを目的としております。

平成30年度予算要望に当たり、研究テーマを募集しておりますのでお知らせいたします。提案されたテーマの審査は、地下センターの研究企画委員会において、提案企業匿名で審査を行います。またテーマの実施方法は、委託先を平成30年4月中旬以降に公募によって決定します。決定された委託先は、当センターと共同して調査研究を実施するものと致します。

調査研究に係る技術課題・テーマの類型は、公共性が高く先導的で単独企業のみでは取り組み得ない共通基盤的な社会開発システム等に対して、企業の知恵を結集して新しい技術や新しい技術利用展開、システムの調査・研究を行うものです。テーマは技術課題、特性、調査研究手法、調査研究規模等により以下のように分類しています。

① A型テーマ

〔補助事業での1テーマ事業予算：約1,000万円／年、期間：1～2年〕

新技術・新システムなど、主に概念設計・基本設計や必要に応じて基礎実験等を行うものです。地上・地下の組合せ、あるいは使い分けを含むシステム、コンセプト、エンジニアリングなどの調査研究要素を有するものを対象とします。地上・地下空間に係るエネルギー合理化、新エネルギーの普及、循環型社会の形成、環境対策、都市の再生、産業の活性化、情報化の進展、バイオ技術の進展、新たな産業の創出発展、雇用の創出などの重要政策に沿うものを対象とします。

提案テーマ及び内容が具体的で、調査研究の成果が将来、国内外の普及に結びつき、技術的・社会的に貢献できるテーマを特に期待しています。

② B型テーマ

〔補助事業での1テーマ事業予算：約500万円／年、期間：1～2年〕

国内・海外の具体的な地域特性に着目した社会開発プロジェクト等に関し、エンジニアリング技術を結集して地域開発等の構想策定や事業性検討、フィージビリティスタディ等の調査を行うものとします。

〈望ましい技術課題・テーマ〉

- ① 共通基盤的な技術に係るもの(特定企業や個別業種の枠を超えた横断的な分野など)
- ② 広く産・学・官及び異業種交流等により検討されるもの(委員会等を設置して多方面の意見を取り入れるなど)
- ③ 調査研究の成果が将来における官民のプロジェクトに結びつく可能性の高いもの

***** 締め切り等 *****

(1) 提出期限 平成29年8月4日(金)
(17:00 必着)

(2) 提案書本文は、A4版3～4枚程度にまとめて下さい。また、別途、概念図等を添付して下さい。提案書ファイル(MS-Word形式)をE-mailでご提出いただき、提出された提案書の内容について当協会事務局にてヒアリングを実施させていただきます。

(3) 問い合わせ・提出先：

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19
一般財団法人エンジニアリング協会
地下開発利用研究センター技術開発部
研究主幹 中山 等 宛

E-mail：nakayama@enaa.or.jp

TEL：03-5405-7203

* 詳細につきましては、

地下開発利用研究センターホームページ

<http://www.enaa.or.jp/GEC/index.html>

「※お知らせ」をご参照ください。

■会員の皆様へのお知らせ■

□日帰り見学会参加者募集のご案内

地下開発利用研究センターでは、平成 29 年度第 1 回目の日帰り見学会を以下のとおり企画いたしました。会員連絡窓口担当者にご連絡いたしましたので、ご検討の上お申込みいただきたく、宜しく願いいたします。

1. 期 日 : 7 月 25 日 (火)
2. 見 学 先: 新東名高速道路羽根トンネル工事 (神奈川県秦野市)
3. 工事の特徴: 丹沢山地から流入する地下水の豊富な地域であり、掘削時の大量湧水、周辺井戸の水枯れ等が懸念される中、周辺環境に配慮しながらの工事となっています。

□退任挨拶

百田 博宣 (前技術開発部 部長)

私事ではありますが、(一財)エンジニアリング協会の退職に際しまして、退職までの道のりなどをご報告させていただきます。

昭和 52 年 (1977 年) 4 月に清水建設(株)に入社し、土木設計部→大崎研究室→技術開発本部→技術研究所などを渡り歩きましたが、ほぼ一貫して岩盤空洞関係の技術開発・研究・現場支援などに携わり、59 歳 11 ヶ月の平成 24 年 (2012 年) 4 月末に退職しました。その後、5 月に当協会に再就職する僥倖を得て“石油開発環境安全センター (SEC)” 配属となり、“地熱発電の技術・環境課題の調査研究” や“メタンハイドレート関係の受託業務の契約管理業務” に従事しましたが、61 歳 9 ヶ月の平成 26 年 (2014 年) 4 月に“地下開発利用研究センター(GEC)” に異動しました。漸く、清水建設時代に専門としていた地下関係の部署で働くことになったわけです。GEC および地熱プロジェクト推進室(兼務)では、部署の運営管理のほか、地下利用等に係る研究会や地下利用推進部会などの管理・推進および、主担当として補助事業や多くの受託事業に対応してきました。昭和の雰囲気漂わした GEC の職場環境は心地よいもので

4. 行 程 : 14:00 現地集合 (現場へ移動・現場見学) ⇒17:00 頃現地解散
5. 定 員 : 25 名
6. 参 加 費: マイクロバス代 2,000 円 (現地までの交通費は、すべて各自負担とします)
7. 参加方法: 会員連絡窓口担当者に送付しました申込用紙に所定事項をご記入の上、メールまたは FAX にて事務局までお申込下さい。
8. 連絡・問合せ先: 地下センター 中山、中村
TEL 03(5405)7203
FAX 03(5405)8201

したが、何かと忙しい 3 年 3 ヶ月でした。特に、地熱発電・熱水活用関係の多くの受託業務を担当しましたが、SEC で勉強する機会があったこと、業務の積み重ねで知識等を拡充できたこともあり、何とか無事に業務を完了させることができたと思っています。ただ、GEC には、新規の地下開発プロジェクトの創出が必要と考え、自分なりに頑張ってはみたのですが、力不足で具体化できなかったことは心残りではありますが……。

以上、冗長な文章となってしまいましたが、これからは、城山三郎の小説「毎日が日曜日」のタイトルように過ごせればと考えていますが、なかなか難しいかもしれませんので、今後のことは深く考えず、成り行きに任せようと思っています。末筆になりますが、賛助会員の皆様のこれまでの多大なご協力・ご支援に厚く御礼を申し上げますとともに、今後の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念いたします。また最後に、GEC の皆様に対しましては、高齢化が進んでいますので、まずは“無病息災”、次に (余禄があれば) “更なる飛躍” を期待しまして、退職のご挨拶とさせていただきます。